

高等教育コンソーシアム信州
2025年度 大学間連携事業
キャリア×トーク

成果報告書

Career Cross Talk



高等教育コンソーシアム信州では、大学間連携事業の一環として、学生と県内企業が地域課題や仕事の魅力について対話するイベント「キャリア×トーク」を開催いたします。

本企画は、地域企業と学生が直接対話できる機会を提供することを目的としたキャリア形成支援イベントです。企業の事業内容や地域への貢献、持続可能な取り組みなどについて紹介するとともに、学生が地域との関わり方や働く意義を考える場として実施します。企業情報の提供にとどまらず、地域での活動に関心をもつ学生と企業が出会い、相互理解を深めることを重視します。

信州産学官連携インターンシップやPBL(Project Based Learning)への参加に向けた導入機会としても位置づけ、実際に活動へ踏み出す「きっかけ」となることを目指しています。各大学の特色や地域性に応じてテーマや登壇企業を選定し、対話や交流を通じて自分の関心や将来像と照らし合わせて企画しています。

信州大学農学部

○日時・場所

日程：7月4日（金）

時間：17:30～19:00

場所：信州大学農学部生協二階
スペース

○登壇企業

- ・ エムケー精工さん
- ・ 小木曾建設さん
- ・ ニシオティーアンドエムさん
（オンライン参加）

○参加学生

農学部学生14名程

○実施内容

企業紹介→企画→インターン紹介

【企画内容】

”院進”と”学部卒就職”という、農学部生が悩む課題を社会人に相談してみよう。



◀
◀
当
日
の
様
子

成果報告～信州大学農学部

Career Cross Talk
Career×Talk
キャリア クロス トーク

▶▶▶ 願いごとの次は、未来の話をしよう
七夕祭り後開催!!

院進?
就職?

“キャリア×トーク”は地域企業と学生が直接対話できる機会を提供すること目的としたキャリア形成支援事業の一環です。企業の実業内容や地域への貢献、持続可能な取り組みについて紹介することで、学生が地域への関わり方や働く意義を学ぶ場として実施します。
農学部生が抱えている“大学進への進学か学部卒での就職か?”や“学生が抱えている悩み”をこの機会に社会人に聞いてみるませんか?
「やっぱり修士卒の方が活躍できる?」「学部卒でも、学卒に比べて活躍できる?」そんな声も聞けるかも!

タイトル
**何する?どう選ぶ?
就活相談室!**

日時: 2025.7.4 (金)
17:30~19:00/ 17:10 受付開始

登壇企業
エムケー精工(株)
小木倉建設(株)
ニシオディープアンドエム(株)

実施方法: 対面
会場: 信州大学農学部
生協2階ラーニングcommons

参加費: 無料
対象: 全学年

参加お申し込みは
こちらから ▶▶▶



【現地での体感】

関係者による個別連絡や呼びかけにより、最終的には14名の学生が参加する形となりました。加えて、参加予定企業のうち1社が直前でオンライン対応に変更となるなど急な調整も発生しましたが、柔軟に対応し、全体として大きなトラブルもなくイベントを無事に実施することができました。イベント序盤は、学生たちもやや緊張した様子で、質問タイムでも発言を控える傾向が見られました。しかし、プログラムが進むにつれて、徐々に自分の関心や悩みを率直に共有する学生が増え、会場全体が活気づいていきました。予定していた進行よりも若干余裕が出たため、急遽トークセッションをもう1ターン追加するなど、現場での判断により内容の充実を図ることもできました。最終的には、学生にとっても企業にとっても実りある対話の場となり、参加者同士の距離も縮まった非常に有意義な時間となりました。限られた準備期間の中で、多くの協力と臨機応変な対応によって実現した。

◀◀チラシ

【学生アンケートから】

学生アンケート (n=13) では、「大変満足」が4名、「満足」が9名と、全体的に高い満足度が示され、イベントは概ね成功だったと評価できる。自由記述には「自分の悩みを話せて良かった」「楽しかった」「将来を見つめ直すきっかけになった」といった声が多く寄せられた。特に、「大学院進学か就職か」という学生にとって重要な選択について、率直に悩みを打ち明けられる安心感のある場となった点は、本企画の目的と合致しており意義深い。今後も同様の機会を継続的に提供していくことが求められる。



松本大学

○日時・場所

日程：7月7日（月）

時間：13:30～15：00

場所：松本大学

○参加学生

松本大学 学生 約80名

○実施内容

- ・ 企業紹介
- ・ グループでの質問交流会（3社分）

○登壇企業

- ・ 株式会社ユリーカ 様
- ・ 株式会社フクザワコーポレーション 様
- ・ 株式会社フジテック 様
- ・ 株式会社松本松田オート 様
- ・ 株式会社ロイヤルオートサービス 様
- ・ 丸文通商株式会社 様
- ・ 株式会社ウィルトス 様



◀
◀
当日の様子

成果報告

〈現地での体感〉

最初の方は緊張からか会話が弾まない一面もあったが、途中から場が和み自発的に質問をする姿が見られた。またスムーズに進み時間内にきっちり終わらせることができた。また、指名すると発言が出てくることから、「誰からどの順番で話始めるか」を指定することの重要性が顕著に現れた。加えて、席が分からない学生がいたことから、会場セッティングをこだわっても良かったように思う。

〈学生アンケート〉

学生アンケートに回答してくれた5名の方のうち、4名の方が本企画に対して「満足した」と回答していた。また、回答者はいずれも2年生の方だった。

実際に働いている社会人の話を聞くことで、将来のビジョンが描きやすくなったと回答する学生が多く見られた。参加学生は企業の方との対話で多くの学びを得ることができたのではないかと思う。その一方で、自分が話を聞きたい企業に質問する時間が設けられなかったため、本企画に満足しているとは言えない、と回答している学生も見られた。

イベント運営の課題として、グループあたりの適正人数があった。今回グループあたり10人で行ったが会話が進まず、企業さんの場を回す力に委ねる属人的なイベント運営になっていたように思う。また、会場の形にも反省が見られた。講義室タイプ（机と椅子が固定）では、移動がしにくいのはもちろん、GDをするにも体制を整えにくいかった。今後のキャリア系イベントでは、適正人数や会場に着目し、運営を行っていきたい。



企業と学生でグループを組むことで進行をスムーズにすることはできたが、参加学生が目当てとする企業に話を聞くことができなかったケースも多々あったと考えられる。より充実した企画を仕上げるためには、参加学生の要望を念頭に置き、当日の運営を考える必要がある。今回のアンケート結果を踏まえ、次回以降の運営に活かしていきたい。



オンライン

○日時・場所

日程：7月15日（火）

時間：17:30～19:00

場所：zoom(オンライン)

○参加学生 5名

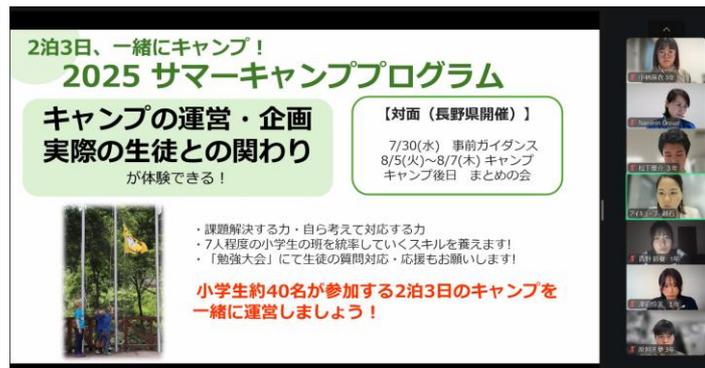
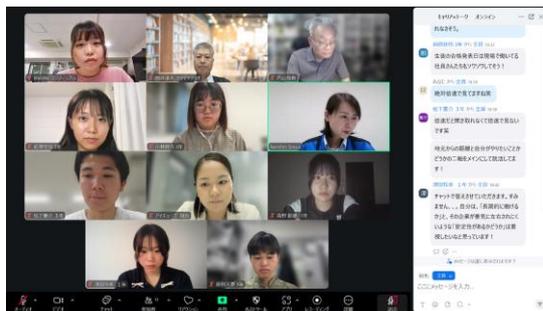
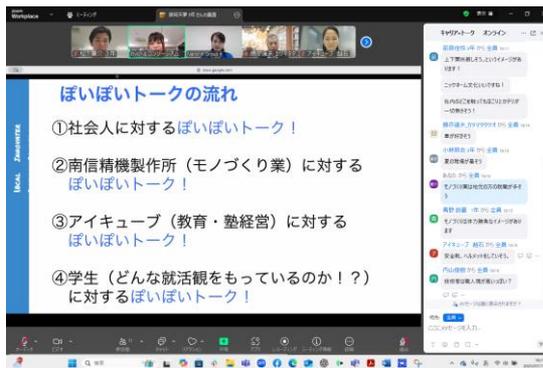
○実施内容

- ・登壇者紹介
- ・チェックイン
- ・企業説明
- ・ワーク
- ・インターンシップ紹介

○登壇企業

- ・南信精機製鉄所
- ・株式会社アイキューブ

当日の様子



成果報告

課題

イベント運営において最も大きな課題は集客である。今回のイベントは変更点が多く、登壇企業も1週間前くらいまで確定していなかったため、十分な広報期間を確保できなかった。キャリアクロストークのように短期間に複数回行うイベントをでは、遅くとも一つ前のイベント当日までに内容を確定し、広報していくことが望ましいと考えられる。また、しごと一くを含め、参加者の多くが身内（LID/SD生）に限られている点も課題である。横断プログラム生以外の学生の集客率を上げるための工夫をしていく必要がある。

さらに、今回のイベントでは開始時間の設定にも見直しの余地がある。運営メンバーの都合や5限がある生徒に配慮し、17時半開催・19時閉幕としたが、企画時間が伸びただけで、期待していた途中からの参加者は見込めなかった。今後、オンラインの開催の場合には18時～18時半に開始時間を設定することで、授業の後に参加しやすくなることが期待される。

学生感想

今現在、まだ全然将来就きたい仕事にイメージがわいていなかったのも、実際に企業で働いている方とお話ができるという点で、新鮮だなと思って参加しました。参加してみたの感想は、これまであまり考えてこなかったものづくり業や教育の仕事について、初めて詳しく知ることができて、新鮮でした！また、こういう仕事もあるのだなという、新しい視点も知ることができました！

企業の方のお話を、実際に就活を行っている3年生の方と一緒に聞くことができて就活の意識が持てたから。企業の方のお話をダイレクトに聞くことができて自分の視野が広がった

南信精製作所様とアイキューブ様で働いている方と実際に質疑応答をしたことによって、自分がこれまで持っていたイメージを払拭することができたと同時に、いままで考えてこなかった職種について、新たな視点を持つことができて、興味深かったです！また、同じ学生の先輩方が、どのような軸を持って就活に臨んでいるのかについても知ることができて勉強になりました！ありがとうございました！

参加企業の皆様の社会人として企業人としての考え方をよく知るきっかけとなった